



2020年8月期

決算説明会

第23期

DATE 2020.10.23
AUTHOR Media Kobo

1. サマリー

2. 2020年8月期業績

3. TOPICS

4. 会社概要（ご参考）

サマリー

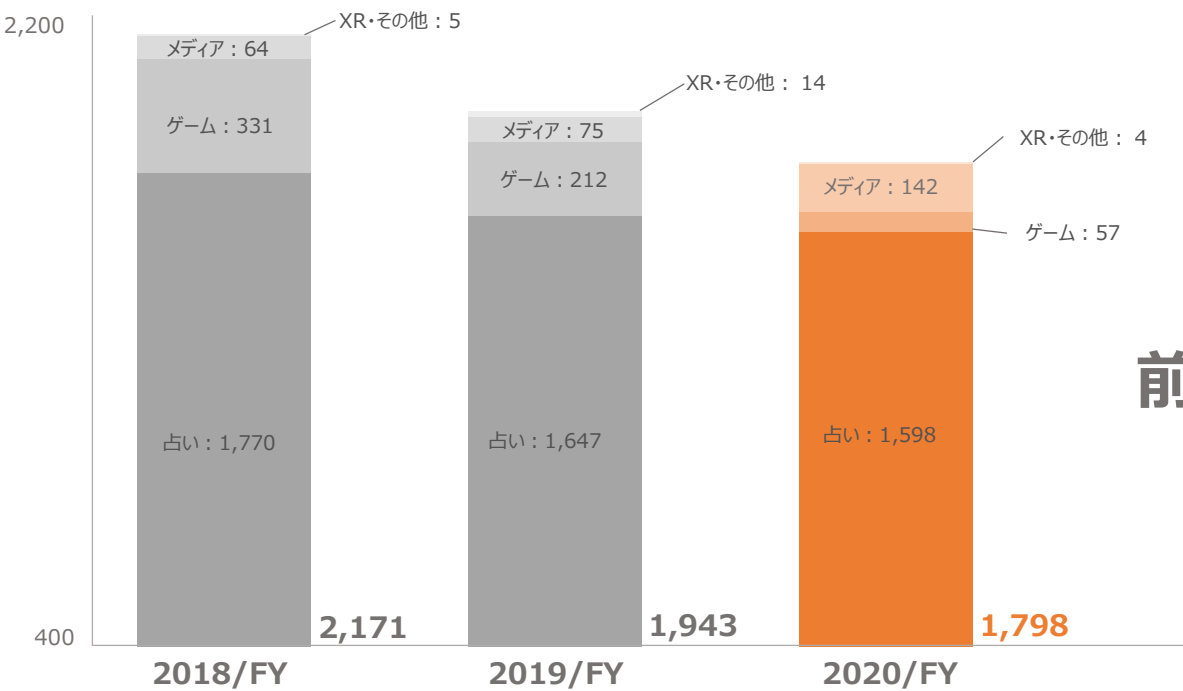
業績ハイライト

売上高	1,798 百万円	(前年同期比	7.5 %減)
営業利益	▲9 百万円	(前年同期は営業利益	36 百万円)
経常利益	▲18 百万円	(前年同期は経常利益	40 百万円)
当期純利益	▲149 百万円	(前年同期は当期純利益	22 百万円)

主な要因等	影響
One to One Marketing 事業 / メディア事業の売上高微増	・ 売上高微増
占いコンテンツ事業の売上高減少	・ 売上高減少 (PCコンテンツ) ・ 営業利益減少
子会社ゲーム「コスプリ!!」の完全不発とゲーム事業撤退 (コスプリ!!に関するソフトウェア等および子会社ののれんの減損)	・ 売上高減少 ・ 営業利益減少 ・ 特別損失計上 (ソフトウェア・のれんに関する減損)
新型コロナウイルスの流行によるインバウンド事業の一時停止 (上海子会社の清算・販売店舗の閉鎖)	・ 売上高減少 ・ 営業利益減少 ・ 特別損失発生 (事業整理損)
不稼働資産の早期償却	・ 営業利益減少

2020年8月期 業績

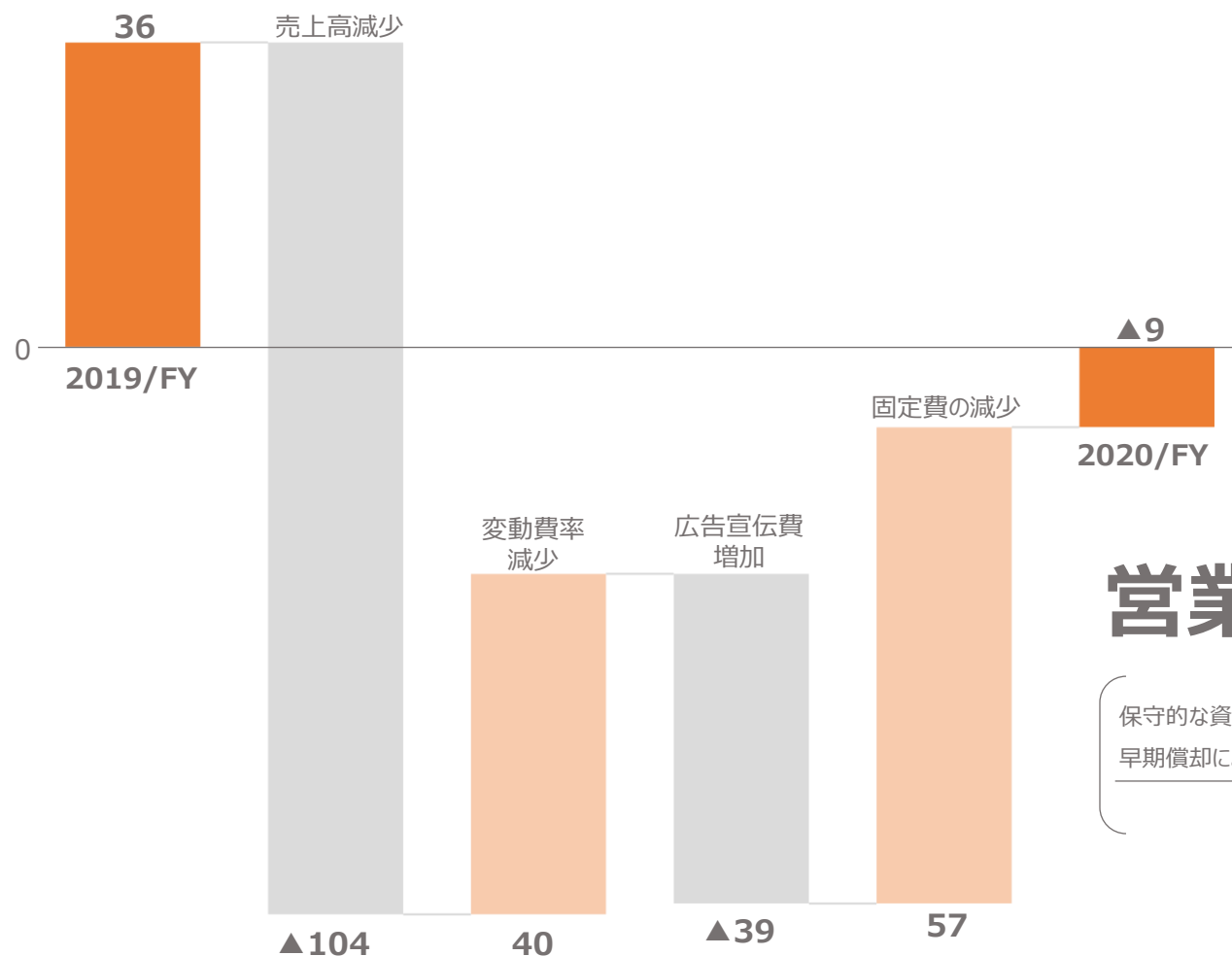
■ 既存事業の減収と新規事業の計画見直しが影響



前年同期比 **7.5 %減**

主な要因等	影響
One to One Marketing ・ メディア事業が安定成長	・売上高増加
占いPCコンテンツのパイの縮小	・売上高減少
新規ゲームタイトルが完全不発 / セカンダリー運営数減少	
新型コロナウイルス流行による新規事業収益化の遅れ（インバウンド停止・XR撮影停止）	

■ 新規ゲーム売上不振と新規事業収益化の遅れ / 不稼働資産の早期償却が影響



営業損失計上

保守的な資産見積による制作費等の費用化 : 20.9百万円
 早期償却により2020年8月期に減価償却したXR資産 : 25.5百万円
合計 : 46.4百万円

■ 選択と集中による経営資源の効率化を推進 2021年8月期の収益確保に向けて

損失計上の主な要因と対応

- ・ 子会社ゲームの完全不発 → ゲーム事業からの撤退
- ・ コロナによる影響
 - インバウンド事業の一時停止
 - 上海子会社の清算（香港への拠点集約）
 - 商品販売用店舗の閉鎖（メディトラ）
- SUPERTRACK 撮影が一時困難に
 - XR事業の開発スケジュール見直し・収益化に遅れ
- 不稼働資産の償却

資産を適切に稼働させる (2021年8月期に向けた精査)

2021年8月期にむけた不稼働資産の償却 2

8

資産の見積もりを保守的に実行（制作費等を可能な限り費用として計上）

報告セグメント	概要	計上額（百万円）
占い関連	・ 既存システムの改修/追加（コンシェルジュ/きやらデン）	8.4
メディア関連	・ 新規メディア制作	1.3
XR関連（※）	・ 新規システムの開発（Webコミュニケーションサービス関連）	7.2
管理（全社）関連	・ 引っ越し（一部事業部拠点を本社へ）	4.0
営業損失内訳 小計		20.9

※ XR関連の資産については特に早期償却の対象とし、減価償却を行っております。（第23期：25.5百万円 第24期（予定）：48.0百万円）

事業・資産を徹底精査（選択と集中・撤退 不稼働資産を減損）

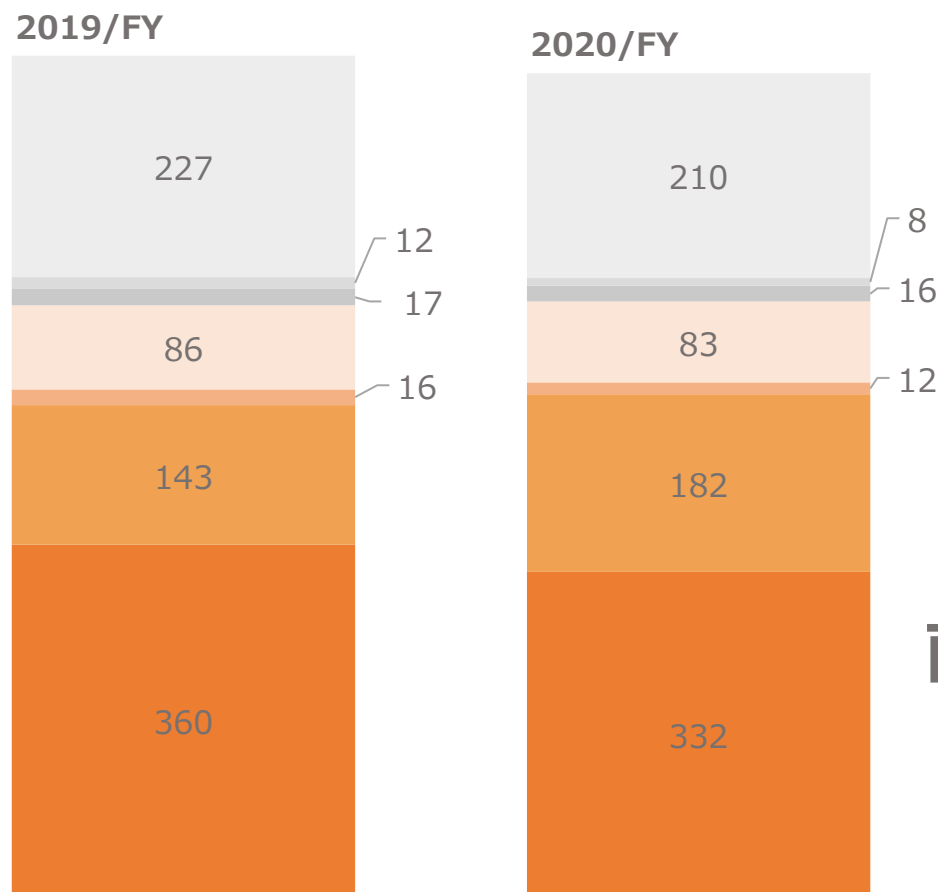
報告セグメント	概要	計上額（百万円）
新規事業	・ 上海子会社清算（香港子会社へ拠点集約）	19
	・ 実店舗の閉鎖	4
ゲーム関連	・ コスプリ！！に係る無形固定資産	52
	・ のれんの償却	16
	・ その他	8
特別損失合計		102

■ 一部既存事業が継続的増収益 新規事業は投資継続

(百万円)		2019FY	2020FY	増減率(%)	主な増減要因
占い コンテンツ	売上	1,647	1,598	▲3.0	PCコンテンツのパイの縮小 One to One Marketing の増収益
	営業利益	532	495	▲7.0	
ゲーム コンテンツ	売上	212	57	▲73.0	セカンダリー：運営数減少 運営長期化による収益力減少 新規制作：「コスプリ!!」完全不発・撤退へ (のれん及び「コスプリ!!」ソフトウェアを減損)
	営業利益	6	▲17	▲344.1	
メディア	売上	75	142	88.6	広告+課金のWebメディアで売上増・単月黒字化
	営業利益	▲26	▲29	▲12.7	
XR	売上	0	0	▲71.8	XR技術の収益化に向けてコミュニケーションプラットフォームのシステム開発に注力
	営業利益	▲23	▲38	61.1	
その他	売上	14	4	▲64.8	新型コロナウイルス流行によりインバウンドに打撃 選択と集中により損失拡大を押しとどめる (上海子会社の清算と販売店舗の撤退)
	営業利益	▲82	▲41	▲49.1	

※調整額を表示していません。過去の業績及び比較は現在のセグメントに合わせて遡及修正を行っています。

■ 広告効果測定強化のため広告宣伝費微増



前年同期比 **2.1** %減

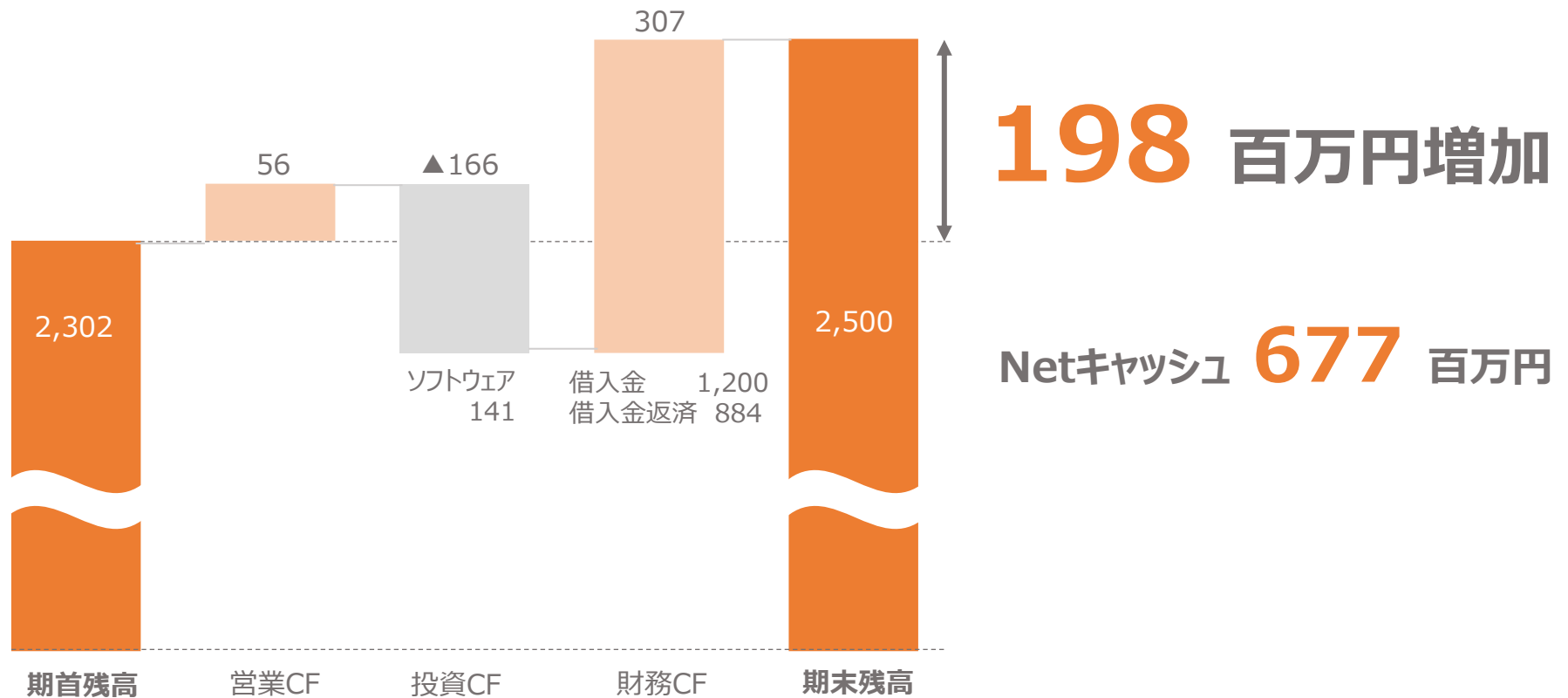
■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ 減価償却費 ■ 業務委託料 ■ 採用費 ■ のれん ■ その他

連結貸借対照表

■ 迅速的なM&A実現を目的として借入を増加／2021年8月期に向け不稼働資産を積極的に償却

(百万円)	2019/FY	2020/FY	増減額	増減率(%)
流動資産	2,679	2,874	194	7.3
うち現金および預金	2,302	2,500	198	8.6
固定資産	407	353	▲53	▲13.1
うちのれん	25	0	▲25	▲100.0
うちソフトウェア	128	89	▲39	▲30.7
うちソフトウェア仮勘定	19	67	47	243.7
総資産	3,087	3,228	140	4.6
流動負債	949	1,174	224	23.7
固定負債	789	864	74	9.4
負債	1,739	2,038	299	17.2
株主資本	1,351	1,195	▲156	▲11.5
うち資本金	451	451	0	0.0
うち利益剰余金	985	835	▲149	▲15.2
うち自己株式	▲514	▲514	0	0.0
純資産	1,348	1,189	▲158	▲11.7

- 営業CFが縮小傾向 2021年8月期より開発システムが収益へ貢献予定



TOPICS

■新型コロナウイルスによる事業環境の変化に伴い選択と集中を加速

(百万円)	2020年8月期 (実績)	2021年8月期 (予想)	増減額	増減率(%)
売上高	1,798	1,960	161	9.0
営業利益	▲9	10	19	—
経常利益	▲18	0	18	—
親会社株主帰属当期純利益	▲149	0	149	—
1株当たり当期純利益 (円)	▲14.83	0	14.83	—

事業シナジーが見込まれる場合はM&Aも視野に

- 占い ・ 新規メディア構築
- One to One ・ 「きゃらデン」強化
- メディア ・ 新規分野でのアプリ提供
- ゲーム ・ 撤退→XR事業の協力体制のもとWebコミュニケーションサービスの提供開始（新規事業）
- 新規 ・ ECの強化とアウトバウンドサービスの開始

メディア工房グループ 事業概要



占い

3 方向から占いを展開、悩める人の背中を後押し

- 1 to N 向け「デジタルコンテンツ占い」
- 1 to N 向け「占いメディア」
- 1 to 1 向け「電話占い・チャット占い」

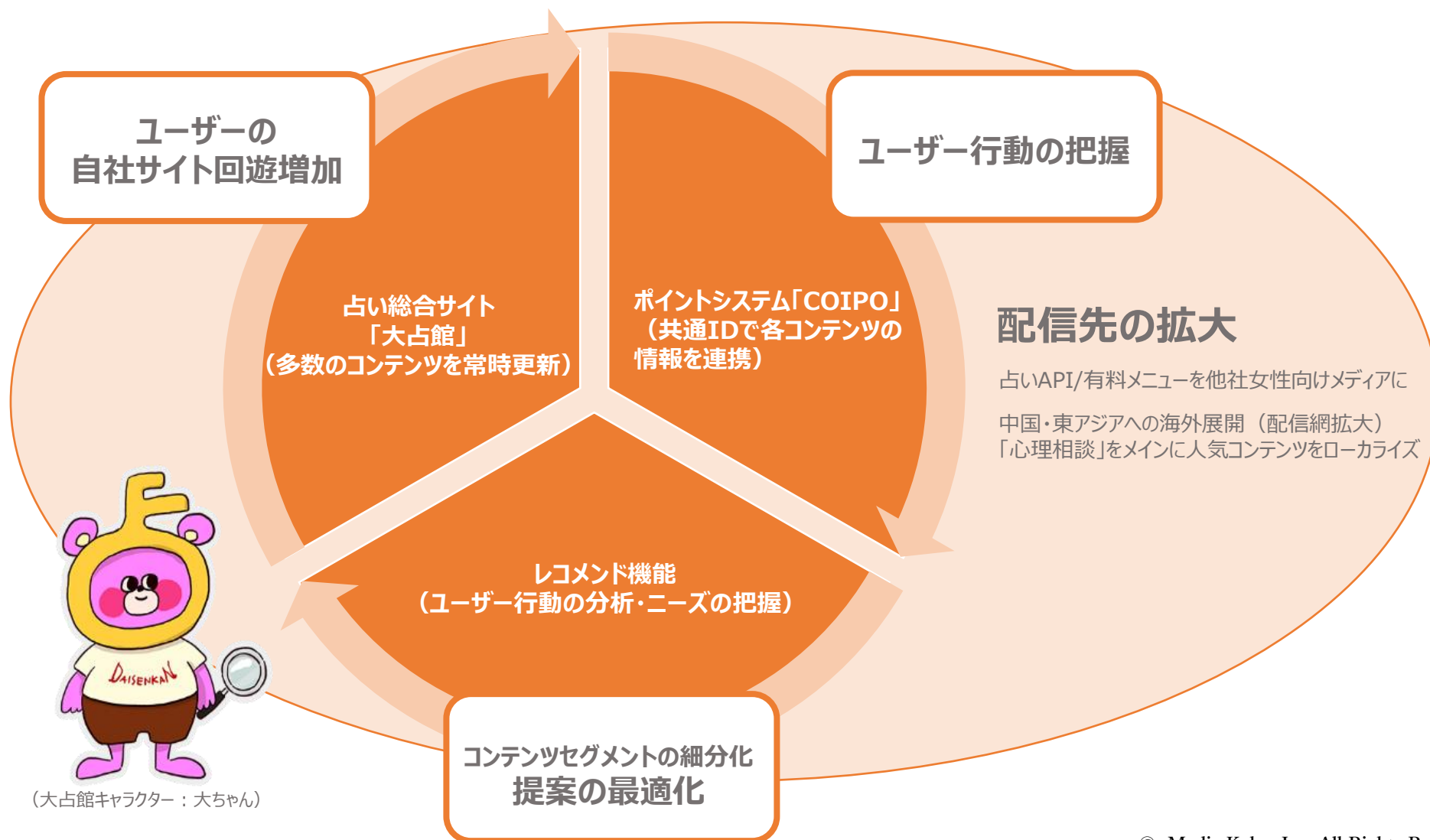
医療ツーリズム・越境EC

中国富裕層向けインバウンド・アウトバウンドサービス
美容・医療関連ECで健康をサポート

Webコミュニケーションサービス（新規・XR）

現実世界と非現実世界の融合、共有できる楽しさを世界に

自社サイトのプラットフォーム化 他社に依存しない収益モデルの構築



1 対1 でユーザーに向き合う「あなただけ」「あなたのため」のサービス

特色・個性はそのままに「質」を保つ

オペレーションの徹底した見直し
顧客志向の徹底
ムダ、ムラを排除した効率的な運営



ノウハウ・システムを新サービスへ展開

電話占いのノウハウをきゃらデンへ
配信プラットフォーム拡大と横展開
アプリの他 Web版を開発予定



自社Webメディアが担う2つの役割

集客基盤として

潜在顧客の獲得・自社占いコンテンツへの送客
女性向け記事コンテンツの充実・ターゲット設定の明確化

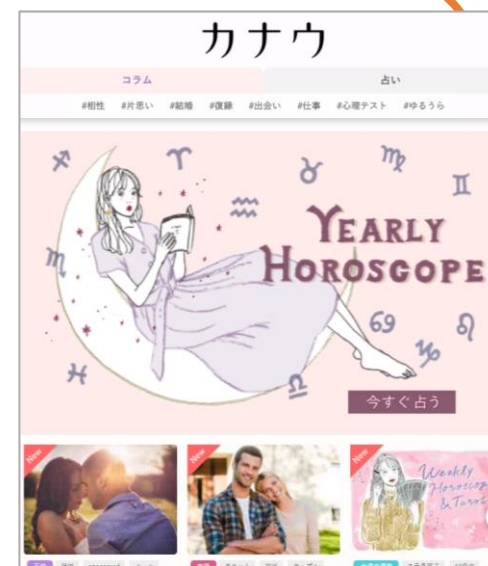
収益基盤として

新規メディア制作

自社課金サイトを数サイトリリース予定（自社課金メディアの追加）
強みである「占い」以外の分野でも収益を（事業規模の拡大）

各サイトの収益力向上

SEO対策によるPV数の増加（広告収入）
掲載記事の他社メディアへの提供（他社メディア様との連携強化）
運用体制の整備と強化
自社メディアのCPM向上



独自開発システムSUPERTRACKの実用拡大

コミュニケーションプラットフォームの開発（12月中旬リリース予定）

LIVE配信などリアルタイムのコミュニケーションを追求

MRを含む各種機能を順次搭載予定

スマホ向け配信技術を活用したサービス開発（デバイス/5G対応）

- ・テキストチャット
- ・投げ銭ギフト
- ・ライブ配信
- ・画像/動画投稿
- ・販売機能

第1フェーズ（2020/12）

- ・音声通話
- ・双方向ビデオ通話

第2フェーズ（開発中・予定：2021/3）

- ・オークション
- ・クラウドファンディング
- ・MR立体動画リアルタイム配信

第3フェーズ（予定：2021/8）

フォトグラメトリー撮影ノウハウ・コンテンツプランの提供

撮影・加工処理技術のナレッジを生かした撮影・コンサルサービス

デジタルアーカイブ等のコンテンツプランの提案・提供
家具、不動産などのバーチャルショールームや文化遺産の記録に



「美容」と「健康」のためのサービス開始

商品・サービスの充実と差別化

美容・ヘルスケア製品を中心とした仕入先の拡大
医療機関専売品をはじめ品質重視の高価格帯商品を販売

EC顧客基盤の獲得と拡大化

国内外商品販売先の拡大
中国現地企業との協業を強化
越境＝国外に加え 国内企業と連携した販売も

※ 医療ツーリズムについても引き続き提携先を拡大し2022年8月期に向けて取り組んでまいります。



出入国政策による影響

新型コロナウイルスへの対策として各国政府が講じている国境閉鎖、旅行制限等の国を超えた移動の制限により、訪日外国人の減少とこれにともなうインバウンド需要への影響が予想されます。出入国制限が長期化する場合は、医療ツーリズム事業に影響が生じる可能性があります。なお、現時点においては占いの海外配信への影響は勘案しておりませんが、占いははじめとするコンテンツの海外展開への影響の可能性についても否定できないと考えております。

サプライチェーンへの影響

新型コロナウイルスの世界的かつ大規模な流行により、サプライチェーンに大きなダメージが生じています。物流については徐々に回復の兆しを見せていますが、現在（10/23時点）も国際郵便物（EMS）の一部引き受けが停止しています。出入国制限同様、越境EC事業などの物品を取り扱うサービスにおいては、仕入・販売に影響が生じる可能性があります。

事業環境の急変による影響

当社グループは中長期的な事業戦略にもとづき事業内容、顧客ターゲット、国内外事業拠点等を決定しておりますが、新型コロナウイルスの流行により、当初想定していた事業環境から国内外の状況が急変しております。

当社グループは迅速かつ柔軟な判断をもって、状況に対応してまいります。事業環境の急変が当社グループの事業に影響をもたらす可能性があります。

従業員の安全・健康確保

当社グループは、職場における従業員の安全・健康確保の重要性を認識しています。新型コロナウイルスの流行のさなか、従業員の安全・健康を確保しながら、事業の継続し利益を追求するために、一定期間において90%以上の人員の原則リモートワークを行っております。そのため、お客様およびお取引先様に対し、一部平常時と異なる対応を行う場合があります。詳細については当社HPをご参照ください。

会社概要

VALUE YOUR LIFE with Global Human Communication.

テクノロジーは日々驚くべきスピードで世界的に進化し続けています

私たちはこうしたテクノロジーの進化こそが
人々に新しいコミュニケーションをもたらすと信じています

私たちのミッションは デジタルコミュニケーションを通じて

人々を心から楽しませ 不安や悩みを解決する一助となり

世界的に人々が豊かな人間関係を構築し社会がよりよくなるきっかけとなることです



代表取締役 長沢一男



赤坂本社
(住友不動産新赤坂ビル)

本 社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階
設 立	1997年10月
資 本 金	451百万円
従 業 員 数	連結 97名 (8月末日時点：就業人数)
平 均 年 齢	34.0歳 (8月末日時点：グループ全体平均)
子 会 社	株式会社ブルークエスト 株式会社ミックスベース 株式会社ギフトカムジャパン 株式会社メディトラ 日本和心醫薬有限公司 (香港子会社)
上 場 市 場	東証マザーズ (3815)
事 業 内 容	コンテンツ制作・配信事業・各種メディア事業 他

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた損害等については、当社は一切の責任を負いかねます。

本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来の見通しとは乖離が生じることがありますのでご了承ください。

本資料に関するお問合せ



株式会社メディア工房
経営企画 IR 担当

TEL : 03-5549-1804
FAX : 03-3586-4480

MAIL : irpr@mkb.ne.jp
HP : <http://www.mkb.ne.jp/>